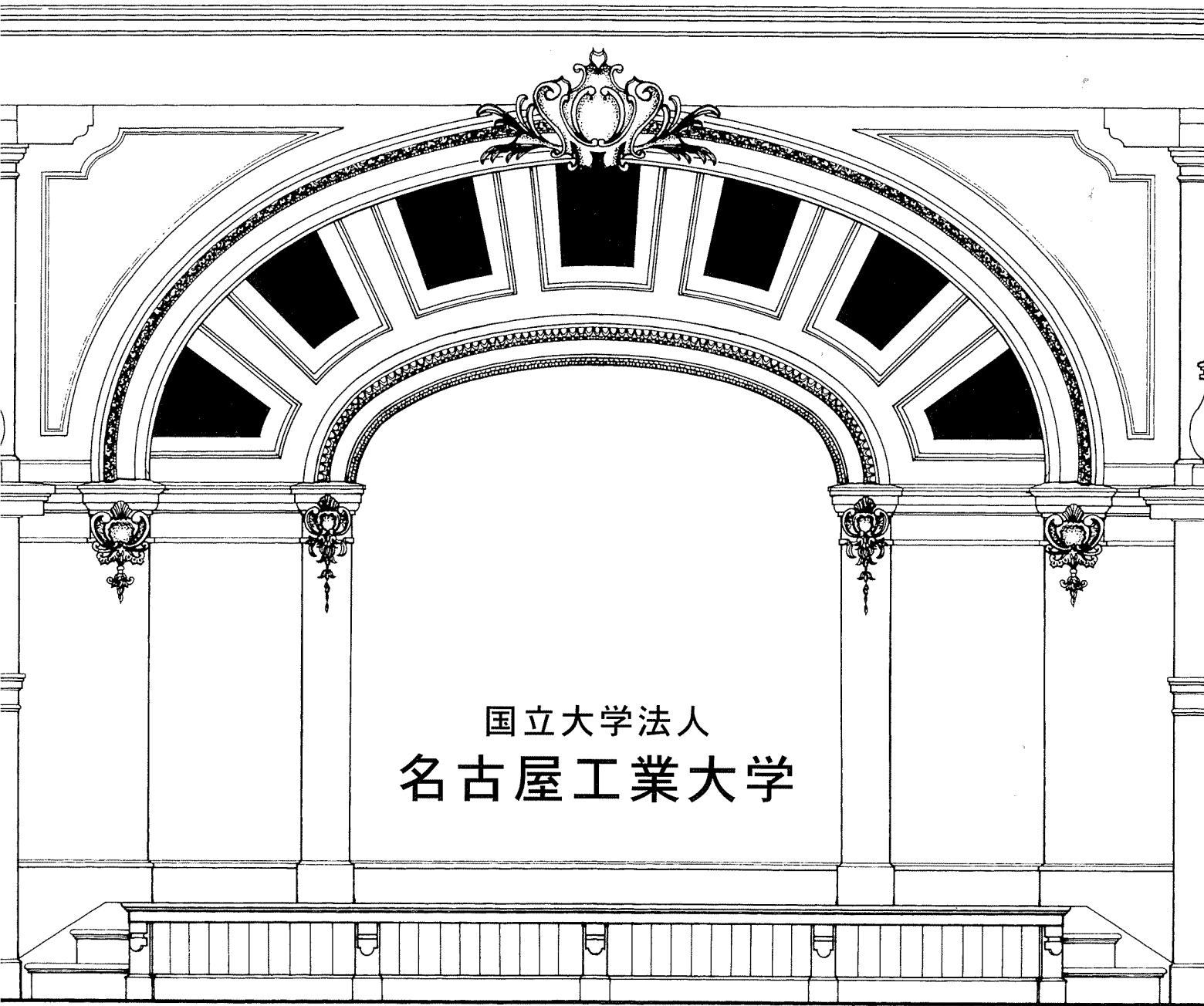


平成30年度
工学部第一部

私費外国人留学生特別入試
学生募集要項



国立大学法人
名古屋工業大学

目 次

平成30年度 工学部第一部私費外国人留学生特別入試学生募集要項

教育理念

アドミッション・ポリシー	1
カリキュラム・ポリシー.....	2
ディプロマ・ポリシー.....	3
工学部第一部私費外国人留学生特別入試学生募集要項	4
1 募集学科及び募集人員	4
2 出 願 資 格	4
3 出 願 手 続	5
4 出 願 書 類 等	6
5 障害等のある入学志願者との事前相談	7
6 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請	8
7 入学者選抜方法	8
8 合格者発表	8
9 入学手続等	8
10 安全保障輸出管理について	9
11 問い合わせ先	9
検定料の払込方法	10
本学への交通案内	裏表紙

この冊子には、次の書類が綴じ込んであります。

- | | | |
|------------|----------|----------|
| 1 入学願書等 | 2 検定料払込書 | 3 連絡用シール |
| 4 受験票送付用封筒 | 5 出願用封筒 | |
-

教育理念

名古屋工業大学では、「『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。」ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

産業界において工学の各分野の技術を深化させる人材と工学を俯瞰的に理解し新たな価値を創造する人材が求められることに鑑み、技術の深化で貢献する学生を育成する高度工学教育課程と価値の創造で貢献する学生を育成する創造工学教育課程を置いています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れています。

本学工学部で学ぶ学生は数理的知識とその活用を中心に基礎学力をもち、本学の理念をよく理解し、工学の使命を果たす意欲をもつ人です。

高度工学教育課程

（高度工学教育課程とは、生命・応用化学科、物理工学科、電気・機械工学科、情報工学科及び社会工学科の5学科の総称をさす。）

- 1 高等学校等で学習する教科・科目の基本的な知識を習得し、これを活用して課題解決を行う能力をもつ人、特に英語の基礎学力と表現力をもつ人
- 2 工学や科学技術の学習に特に必要となる数学と理科に関する論理的・数理的・科学的思考力をもつ人
- 3 知的探究心が旺盛で、自ら新しい課題を見つけ挑戦し、ものやしくみを創造することで、自然との共生の上に人類の幸福に貢献する意欲をもつ人

入学者選抜の基本方針

日本国籍を有せず、外国において学校教育を受けた者で、日本での積極的な勉学を志す学生を対象に、提出書類、日本留学試験の成績、「TOEFL」又は「TOEIC」の成績及び試問を含む面接での評点を総合して選抜します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

教育理念に従って人材を育成するため、以下の観点から、教育課程を編成しています。

工学部は、高校までに学んだ基礎学力の上に、工学技術者の使命への理解、社会や現象を解析・操作する能力、工学の専門知識とこれを活用する能力を身につけ、未来社会をつくりだす人材を育成します。

高度工学教育課程

（高度工学教育課程とは、生命・応用化学科、物理工学科、電気・機械工学科、情報工学科及び社会工学科の5学科の総称をさす。）

- 1 人間、文化、社会を理解し、それらを技術的観点から考察する能力、及び技術を新しい生活につなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観を身につける。
そのため、学習への態度とキャリア像を涵養させる1年次前期の科目の後、技術的観点から人間、文化、社会を考察する力を養う人間社会科目と、技術を新しい生活につなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観を養う産業・経営リテラシー科目を学習させる。
- 2 現象の理解・操作のための数理的基礎知識と科学的素養を身につける。
そのため、自然科学基礎科目と各分野の専門科目において数理的基礎を学習させる。
- 3 国内外の人々と対話できるコミュニケーション力と論理的思考力を身につける。
そのため、グローバルコミュニケーション科目を置く。また、専門科目の実験・演習と卒業研究においてグループでの作業・議論・発表を通じてこれらの能力を涵養する。
- 4 基幹となる専門分野の基盤的な知識・技術と新たな知識・技術を習得する能力を身につける。
そのため、専門科目を置き、他の分野の科目を履修させる。専門分野の卒業研究において知識・技術を総合し創造する能力、知識・技術を自ら習得する能力を養う。

以上によって効果的な教育を行うため、共通科目と工学分野ごとの体系的専門知識を1年次から4年次まで段階的に修得し、専門と共通科目の知識の相互関連を意識できるよう学習をします。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

工学部は、教育理念に従って次の専門知識や能力を有する技術者を輩出します。
名古屋工業大学学則で定める卒業認定の要件を満たした学生に学士の学位を授与します。

高度工学教育課程

（高度工学教育課程とは、生命・応用化学科、物理工学科、電気・機械工学科、情報工学科及び社会工学科の5学科の総称をさす。）

- 1 人間、文化、社会を理解し、それらを技術的観点から考察する能力と技術を新しい生活につなぐ強い使命感・責任感、高い倫理観
- 2 現象の理解・操作のための数理的基礎知識と科学的素養
- 3 国内外の人々と対話できるコミュニケーション力と論理的思考力
- 4 基幹となる専門分野の基盤的な知識・技術とこれによって課題を解決する能力、新たな知識・技術を習得する能力

高度工学教育課程において学士の学位が与えられるものは、工学技術者が果たすべき責任をよく理解し、工学の専門知識と経験をもち、他の分野の人材との協働によって新たな技術の創出に貢献することのできる人物です。

工学部第一部私費外国人留学生特別入試学生募集要項

1 募集学科及び募集人員

工学部第一部（修業年限4年）の私費外国人留学生を、次のとおり募集します。

募集学科・分野		募集人員	
高度工学教育課程	生命・応用化学科	若干名	
	物理工学科	若干名	
	電気・機械工学科	若干名	
	情報工学科	若干名	
	社会工学科	建築・デザイン分野	若干名
		環境都市分野	若干名
経営システム分野		若干名	

2 出願資格

次の(1), (2), (3), (4)の全てを満たしている者

- (1) 出願時に日本国籍を有しない者（出願時に日本国永住許可を得ている者を除く。）
- (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格「留学」を有する者又は取得できる見込みの者で、次の各号のいずれかに該当するもの

なお、出願時に「留学」の在留資格を有せず見込みで出願した者は、入学手続後すみやかに「留学」の在留資格に切り替えてください。「留学」の在留資格を取得しない場合、入学を取り消します。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者
- ② 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。次号において同じ。)に合格した者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- ③ 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。）で、我が国の大学に入学するための準備教育を行う施設において当該課程を修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者で平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- ④ 外国において、高等学校に対応する学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者
- ⑤ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

- ⑥ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- ⑦ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成29年度日本留学試験において、日本語の「聴解」・「聴読解」・「読解」の合計得点が200点以上及び基礎学力（理系）の「理科2科目」・「数学（コース2必須）」の合計得点が200点以上の者
- なお、基礎学力（理系）の「理科2科目」については、志望学科により、次の表に示す科目を受験していること。

※理科の受験科目について		
志望学科	受験科目	
生命・応用化学科	物理，化学，生物から2科目選択	
物理工学科	物理，化学の2科目必須	
電気・機械工学科		
情報工学科		
社会工学科		建築・デザイン分野
		環境都市分野
	経営システム分野	

- (4) 「TOEFL」又は「TOEIC」を受験した者

※「日本留学試験」についての照会は、下記に問い合わせてください。

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29

電話 03 (6407) 7457

注：日本国籍を有しない者であっても学校教育法の定める高等学校又は中等教育学校を卒業した者は、一般の入学志願者と同じ扱いとなり、この特別入試には出願できません。

3 出願手続

- (1) 出願期間

平成30年1月4日(木)から1月9日(火)

なお、1月9日(火)までの消印のあるものは受け付けます。

- (2) 出願方法

入学志願者は、出願書類等を取りそろえ、本学所定の封筒を用い、「書留速達」で郵送してください。

また、海外から出願する場合は、入試課へ問い合わせください。

出願状況については、出願締切後ホームページ (<http://www.nitech.ac.jp/>) で公表します。

4 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
①	入学願書・受験票・写真票 (本学所定の用紙)	写真票には、正面、上半身、無帽のもので、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの写真进行全面のり付けしてください。
②	成績証明書 (コピー不可)	高等学校に対応する学校の出身学校長が発行した成績証明書を提出してください。 (日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。)
③	日本留学試験の成績通知書の写し	平成29年度日本留学試験の成績通知書の写しを1部提出してください。 (平成29年6月及び11月に実施された日本留学試験の両方を受験した者は、いずれか高得点の成績通知書を提出することができます。)
④	TOEFL又はTOEIC L&Rの成績を証明する書類	※注意事項(1)を熟読してください。
⑤	卒業(見込)証明書 (コピー不可)	高等学校に対応する学校の出身学校長が発行した卒業(見込)証明書を提出してください。 (日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。)
⑥	住民票の写し (コピー不可) ※	在留資格及び在留期間が記載された住民票の写しを提出してください。(在留資格を有しない者は、パスポートの写しを提出してください。) ※「住民票の写し」とは、役所が発行した原紙を意味します。
⑦	検定料	17,000円 検定料は、10ページの「検定料の払込方法」を参照の上、払い込んでください。
⑧	受験票送付用封筒 (本学所定の用紙)	受取人の郵便番号、住所及び氏名を記入し、362円分の郵便切手を貼ってください。 ただし、受信者が外国に居住する場合は、国際スピード郵便(EMS)で送付するため、航空便書状100g相当の国際返信切手券を同封してください。
⑨	連絡用シール (本学所定の用紙)	入学願書に記載した「受信場所」と同一の住所を記入してください。

※注意事項

(1) TOEFL又はTOEIC L&Rの成績を証明する書類について

以下により必要書類を提出してください。

① TOEFL-iBT

公式スコア (Official Score Report) を提出してください。

受験生用スコア (Examinee Score Report) は認められません。

ETS (Educational Testing Service) に対し、公式スコア (Official Score Report) を出願締切日までに本学に到着するよう次のいずれかの方法で手続をしてください。

- ・ TOEFL 試験申込時又は試験前日の22時までにETSに直接申請する方法 (無料)
- ・ TOEFL 試験日以降にETSに直接申請する方法 (有料)

なお、本学の指定校コードは「8549」です。

公式スコアは本学到着までに2か月程度の期間を要する場合がありますので、余裕をもって

申請してください。出願期間内に未着の場合は書類不備となります。

「TOEFL Official Score Report」が、名古屋工業大学に届いているか確認したい場合は、以下のとおりEメールにて問い合わせをしてください。

(問合せ先：nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp)

件名 「TOEFLスコアについて」

本文 ・氏名 (アルファベット)

・ TOEFL 受験日

・ TOEFL 受験番号

・ 生年月日

② TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC L&R)

TOEIC運営委員会が発行した公式認定証 (Official Score Certificate) の原本、顔写真の載っているものを提出してください (コピーは不可)。

「TOEIC Speaking & Writing Tests」のスコアは認められませんので、注意してください。従前の「TOEICテスト」のスコアを提出する場合の有効期限は、当該試験出願期間前2年以内とします。

なお、提出されたTOEIC L&R公式認定証は、受験票に同封して返却します。

③ スコアシート (成績証明書) の有効期限は、当該試験出願期間前2年以内のそれぞれの試験日とします。

なお、TOEFL-ITP、TOEIC-IP等の団体特別受験制度によるスコアは利用できません。

- (2) 記入にあたっては、各票とも黒のインク又はボールペン (消せる筆記具は不可) を使用し、かい書で明瞭に記入してください。記入ミスをした場合は、ミスをした箇所に二重線を引き、余白に正しく記入してください (訂正印は不要です)。
- (3) 受験票及び試験場案内は、平成30年1月12日(金)に、受験票送付用封筒で郵送します。
- (4) 出願書類等の不備なものは、受理しません。
- (5) 出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。
- (6) 提出された出願書類等は、返還しません。
- (7) 既納の検定料は、返還しません。
- (8) 出願書類に虚偽の記載をしたことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (9) 入学者については、入学者選抜に用いた出願書類等や個人情報、学籍などの教務関係、修学指導関係及び学生支援関係に関する業務を行うため利用します。

5 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、学校教育法施行令第22条の3に定める障害のあるもの又はその他の障害等があるもののうち、受験上及び修学上特別な配慮を必要とするものは、出願の前に、下記により相談してください。

(1) 相談の時期及び方法

平成29年11月30日(木)までに相談する内容を文書、電話、FAX、Eメールのいずれかで連絡してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先

9ページの「11 問い合わせ先」にお願いします。

6 受験時に来日する外国人の査証（ビザ）申請

受験時に来日する際、国によっては査証（ビザ）が必要になりますので、詳しくは、自国の日本大使館・領事館に確認してください。

本学を受験するために「短期滞在ビザ」を申請する場合、自己の責任で必要な条件を揃えて手続きを行ってください（本学が「招へい人」、「身元保証人」となることはできません。）。

7 入学者選抜方法

入学者の選抜は、成績証明書、日本留学試験の成績、「TOEFL」又は「TOEIC」の成績及び面接（口頭試問を含む。）を総合して判定します。

面接（口頭試問を含む。）

平成30年1月29日(月)に本学において実施します。

場所等は、志望学科等により異なります。詳細は、受験票送付の際に通知します。

なお、電話による問い合わせには応じません。

8 合格者発表

平成30年2月6日(火)15:00に、本学ホームページ (<http://www.nitech.ac.jp/>) 上に掲載するとともに、合格通知書及び入学手続書類を送付します。

なお、電話による問い合わせは一切応じません。

また、受験票は入学手続時に必要なため、それまで必ず保管してください。

9 入学手続等

合格者（又は代理人）は、次の日時に入学手続を行ってください。

所定の期日までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

なお、合格通知に同封の「入学手続要項」に基づき郵送による入学手続もできます。

(1) 入学手続日時

平成30年3月15日(木)	9:00～16:00
---------------	------------

(2) 入学手続場所

名古屋工業大学

(3) 手続書類等

- ① 受験票
- ② 入学手続関係書類（合格通知書に同封した書類）
- ③ 入学料 282,000円（予定額）
- ④ 授業料 年額 535,800円（予定額）

{	前期分	267,900円
	後期分	267,900円

注意事項

- ア 入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。
- イ 授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。
- ウ 授業料（前期分）を入学手続時に納入しない場合は、平成30年4月2日(月)から4月27日(金)までに納入してください。
- エ 既納の入学料及び授業料は返還しません。ただし、授業料については、入学手続完了者が平成30年3月31日(土)までに入学を辞退した場合には、納入した者の申出により当該授業料相当額は後日返還します。
- オ 入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除の制度があります。
経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者及び入学前1年以内に学資負担者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者には、選考の上、授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

10 安全保障輸出管理について

名古屋工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」

<http://kisoku.web.nitech.ac.jp/houki/204042.htm>

11 問い合わせ先

この学生募集要項に関する照会は、Eメール又は電話等で行ってください。

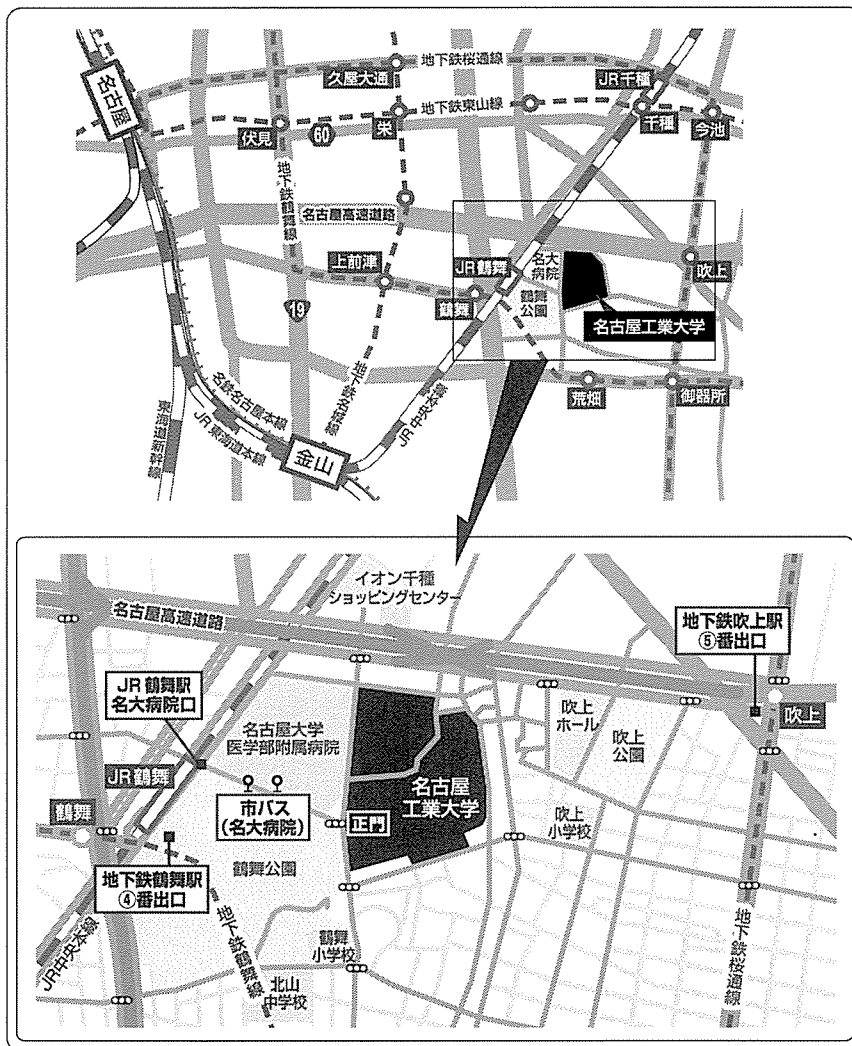
〒466-8555 名古屋市昭和区^{こきこうじょう}御器所町
名古屋工業大学 入試課
電 話 052 (735) 5083
F A X 052 (735) 5084
Eメール nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

本学への交通案内

J R 東海	中央本線	鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地下鉄	鶴舞線(上小田井 ←→ 赤池)	鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
	桜通線(中村区役所 ←→ 徳重)	吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)
市バス	⑬18 (栄 ←→ 妙見町)	名大病院下車(東へ約200m)

注1: ⑬18 は、市バスの系統番号

2: バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



名古屋工業大学入試課

ごきそちよう
 名古屋市昭和区御器所町 (〒466-8555)
 電話 052(735)5083
 ホームページアドレス <http://www.nitech.ac.jp/>

表紙: 本学創設の明治38年(1905年) 当時に建設された
 講堂内部正面図面